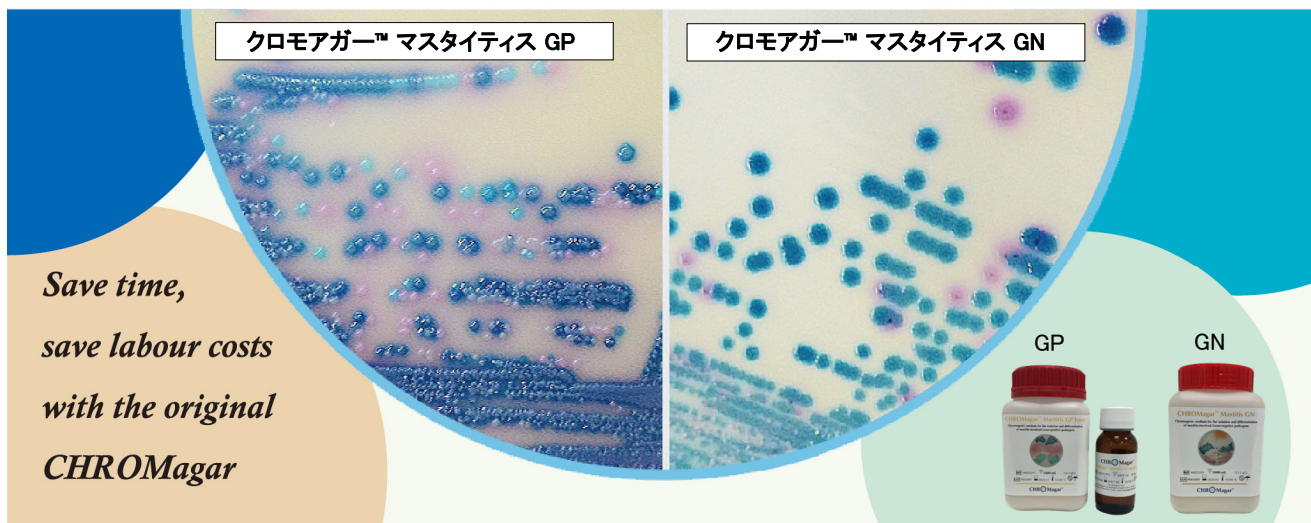


# クロモアガー™ マスタイトिस GP/GN



Save time,  
save labour costs  
with the original  
CHROMagar

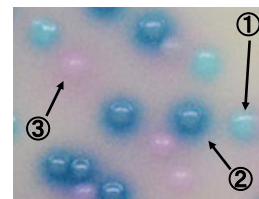
## 特徴

- グラム陽性菌用培地(GP)とグラム陰性菌用培地(GN)から成る、ウシ乳房炎起炎菌のスクリーニング用選択分離培地です。
- 特徴的なコロニーの色調により簡便にスクリーニングができます。

## 典型的なコロニーの色調

### 【クロモアガー™ マスタイトイス GP】

菌種	コロニー色調
<i>Streptococcus agalactiae</i>	ターコイズブルー(①)
<i>Streptococcus uberis</i>	メタリックブルー(②)
<i>Staphylococcus aureus</i>	ピンク色(③)
<i>Escherichia coli</i>	抑制
<i>Candida albicans</i>	抑制



### 【クロモアガー™ マスタイトイス GN】

菌種	コロニー色調
<i>Escherichia coli</i>	濃いピンク色～赤色(④)
<i>Klebsiella, Enterococcus, Citrobacter</i>	メタリックブルー(⑤)
<i>Proteus, Morganella, Providencia</i>	透明、茶色のハロー(⑥)
<i>Pseudomonas</i>	半透明
<i>Candida albicans</i>	クリーム色、微小コロニー
グラム陽性菌	抑制



## 調製方法

### 【クロモアガー™ マスタイトイス GP】

- ・本品42.4 gを1 Lの精製水に懸濁し、よく分散させます。
- ・懸濁した基礎培地にサプリメント8 mLを加え、寒天が膨潤するまで攪拌します。
- ・オートクレーブで110 °C、5分間加熱します(121°Cまたは5分以上の加熱はしないでください)。
- ・静かに攪拌しながら45 °C～50 °Cまで冷却し、シャーレに分注してください。

### 【クロモアガー™ マスタイトイス GN】

- ・本品33.2 gを1 Lの精製水に懸濁してよく分散させ、寒天が膨潤するまで攪拌します。
- ・定期的に攪拌しながら沸騰するまで加熱し、溶解します。
- ・オートクレーブで121 °C、15分間加熱します。
- ・静かに攪拌しながら45 °C～50 °Cまで冷却し、シャーレに分注してください。

## 調製後の保存

クロモアガー™ マスタイトイス GP/GN共に、調製した培地は遮光して乾燥を避け、冷蔵(2 °C～8 °C)すれば、1か月間保存できます。

## 培養条件

クロモアガー™ マスタイトイス GP/GN共に、35 °C～37 °Cで24時間好気培養してください。

## 製品情報

製品番号	製品名	容量	保存温度
49958-52*	クロモアガー™ マスタイトイス GP 基礎培地	5 L用	15 °C～30 °C
49958-53*	クロモアガー™ マスタイトイス GP サプリメント	5 L用	15 °C～30 °C
49958-54*	クロモアガー™ マスタイトイス GN	5 L用	15 °C～30 °C

\*製造元: CHROMagar (フランス)

CHROMagar™はDr.Rambachの登録商標です。

- 本記載の製品は、試薬(試験、研究用として用いる化学薬品)であり、体外診断用医薬品ではありませんので、診断等の目的では使用しないでください。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。

 関東化学株式会社

試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL : 03-6214-1090

HP : <https://www.kanto.co.jp>

## 培地組成

### 【クロモアガー™ マスタイトイス GP】

#### 基礎培地組成

ペプトンと酵母エキス	20.0 g
特殊酵素基質混合物	2.4 g
塩類	5.0 g
寒天	15.0 g
合計	42.4 g/L

#### サプリメント組成

発育因子混合物	8 mL
---------	------

調製後pH 6.9 ± 0.5

### 【クロモアガー™ マスタイトイス GN】

#### 培地組成

ペプトンと酵母エキス	17.0 g
特殊酵素基質混合物	1.2 g
寒天	15.0 g
合計	33.2 g/L

調製後pH 7.0 ± 0.5